

(2-1) 桂川右岸流域下水道（雨水）～いろは呑龍^{どんりゅう}トンネル～

桂川右岸流域下水道雨水対策事業（いろは呑龍^{どんりゅう}トンネル）は京都市（西京区、南区）、向日市、長岡京市の一部を排水区域（面積1,421ha、人口121,000人）として、計画対象降雨を61.1mm/h（1/10確率規模）とした浸水対策を実施するもので、延長約9kmの幹線管渠（地下トンネル）、ポンプ場、調整池、雨水を取りこむための公共下水道接続施設11箇所を整備する。

平成7年度に事業着手し、平成13年6月に北幹線第1号管渠及び3箇所の公共下水道接続施設、平成23年10月に同第2号・第3号管渠及びさらに2箇所の公共下水道接続施設が供用を開始している。

平成25年度から南幹線の整備に着手し、流下機能を確保するための呑龍ポンプ場の整備を進め、令和3年度に南幹線、呑龍ポンプ場及びさらに2箇所の公共下水道接続施設が供用を開始しており、令和5年度末には8箇所目の公共下水道接続施設及び調整池が完成し、地上にも雨水が貯留できるようになった。

これまで大きな効果を発揮しており、平成25年9月の台風18号および平成26年8月の台風11号では、北幹線管渠の貯留率100%まで雨水を貯留し、また令和3年8月の大雨でも北幹線第1号管渠の貯留率が100%まで貯留し、約3000戸の浸水を防いだと推定され、浸水被害軽減に大きく貢献している。また、雨水浸水への安全度が向上したことから、JR桂川駅等の新駅開業と共に駅周辺の商業施設や銀行等の立地、住宅開発等が進むなど地域の発展や安心・安全なまちづくりにおいても効果が発揮されている。

今後は、残る3箇所の公共下水道接続施設の整備を進め、早期の全体完成を目指している。

流入口の様子や
幹線管渠の貯留状況

パソコン用 <http://www.pref.kyoto.jp/donryu/index.html>
携帯電話用 <http://www.pref.kyoto.jp/donryu/m/index.html>

(令和7年4月1日現在)

		全 体 計 画 概 要	事 業 実 績
関 係 市		京都市（西京区、南区）、向日市、長岡京市	
排 水 面 積		1,421 ha	1,308ha
対 策 量		238,200m ³	238,200m ³
幹 線 管 渠		8,987m	8,987m
雨 水 ポ ン プ 場	名 称	呑龍 ^{どんりゅう} ポンプ場	乙訓 ^{おとくに} ポンプ場
	所 在 地	京都市 (洛西浄化センター内)	向日市
	吐 出 量	10.0m ³ /s	0.3m ³ /s
法 手 続	都 市 計 画 決 定	当初 平成7年12月12日	最終変更 平成14年8月13日
	都 市 計 画 法 事 業 認 可	当初 平成8年1月30日	最終変更 令和6年3月14日
	下 水 道 法 事 業 計 画 策 定	当初 平成8年1月30日	最終変更 令和6年2月8日